

社会福祉法人松樹会の処遇改善加算の取得に伴う職場環境要件の取り組みについて次の内容を実践しながら職員の働きやすさの改善に取り組んでいます。

区分	内容	具体的な取り組み
入職促進に向けた取組	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	学校からの体験実習や地域の校区や保育園との交流を定期的を実施しています。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修や受講支援等	実務者研修の受講を希望するスタッフは受講日や試験などにおいて勤務シフトの優先的な配慮を行います。また、認知症ケアなどの研修についても、年間研修計画において積極的な受講の機会を設けています。
	エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等の導入	入職しましたら、先輩職員による担当サポーターを設けます。仕事だけでなく、日常での相談サポートも行います。
両立支援・多様な働き方の推進	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	医療費の支援、昼食費の補助などの福利厚生に加えて、職員の働き方等の相談窓口を設置しています。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	各スタッフに腰痛予防のためのリーフレットの配布、入浴介助支援のための介護ロボットの導入を行っています。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	パートスタッフへも健康診断を実施し、各施設に休憩スペースを設けています。また、喫煙者への分煙も行い健康管理に配慮しています。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故が発生した場合のマニュアルの作成をし、責任体制を明確にしたスタッフの負担軽減に取り組んでいます。

生産性向上のための業務改善の取り組み	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	ベッドセンサーが各施設に整備されており、必要なご入居者にはセンサー等で未然に事故を防ぐようにしています。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	認知症ケア・服薬管理などの業務手順書を整備し、入職したばかりのスタッフにも振り返り講習がしやすくしています。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	役職スタッフによる会議の他にスタッフ同士のミーティング(ユニット会議)などを実施し、スタッフの「気づき」の掘り起しを大切にしています。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	申送りなどで成功したケアを伝え共有するようにしています。また、ご家族からの謝意等もカンファレンス等でも伝えることにしています。